

ガーデニングステージ 緑のベランダ

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、「取付説明書」を施主様にお渡しください。

■ご注意

- 施工を始めてから手直しができないように、事前に調査や打合わせを十分に行なってください。
- 緑のベランダは、土留め(もしくは見切り材)を必要としない場合の施工方法です。土留め(もしくは見切り材)が必要な場合は、別売の緑の花壇をご使用いただくか、現地にて別途土留め材を手配してください。
- 建築基準法、消防法、管理組合の規制等をご確認ください。抵触する場合は、設置することができません。
- 建物の許容荷重を超える場合は、設置することができません。
- 緑のベランダの地盤面から手すりの高さを、1.1m以上確保してください。
- お子様が緑のベランダ内の設置物等を足掛かりにして手すりに登ったり、身を乗り出したりする危険性があります。
- 避難経路となっているベランダの場合は、避難路を確実に確保してください。
- 当社指定部材・部品以外は、使用しないでください。
- 土壌に当社指定品以外は、混入しないでください。
製品の性能、および、土壌の排水性が損なわれる場合があります。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 施工時に発生する騒音の近隣への影響に、ご注意願います。
- エアコン室外機、換気扇の近くに植物を植えると枯れる場合があります。
- 防水層への根の侵入を防止するため、耐根シートを必ず使用してください。

■梱包明細書

①耐根シート

名 称	員 数
耐根シート 2m×4m	1
取付説明書	1
取扱説明書	1

②排水点検口

名 称	員 数
排水点検口	1
点検口キャップ	1

③パーライトチューブ

名 称	員 数	
	1m	1.5m
パーライトチューブ	2	5

④保水排水パネル 900mm×900mm

名 称	員 数	
	3枚入り	12枚入り
保水排水パネル	3	12

⑤保水排水パネル 600mm×600mm

名 称	員 数		
	1枚入	3枚入	5枚入
保水排水パネル	1	3	5

⑥自然浴の土

名 称	員 数
自然浴の土 30ℓ入	1

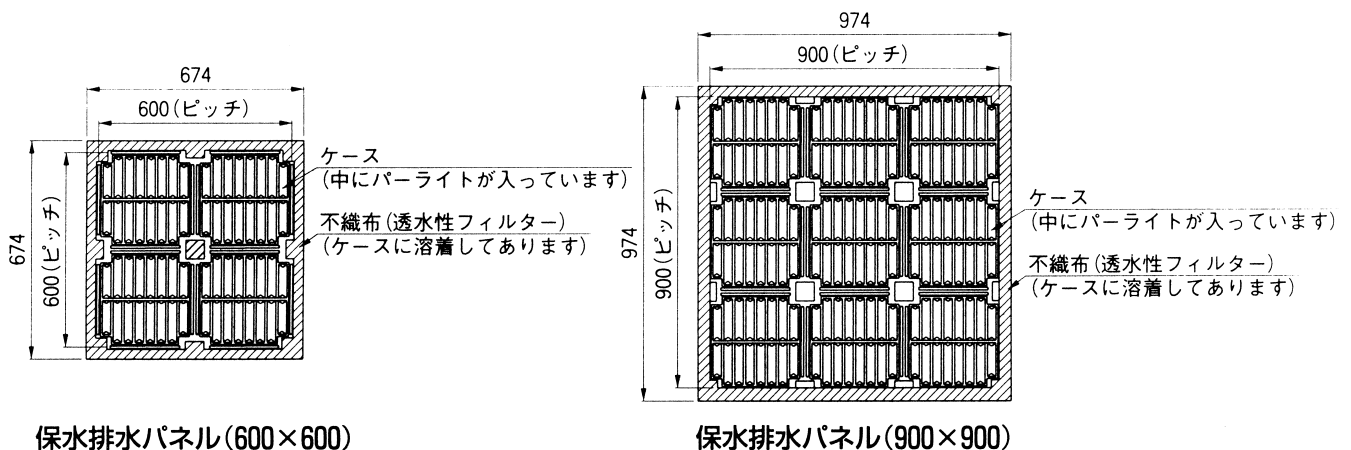
⑦自然浴のたいひ

名 称	員 数
自然浴のたいひ 15ℓ入	1

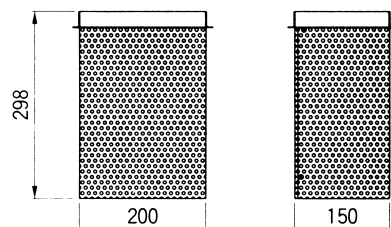
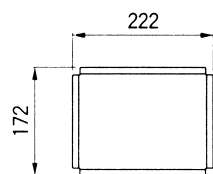
⑧マルチング材

名 称	員 数
マルチング材 50ℓ入	1

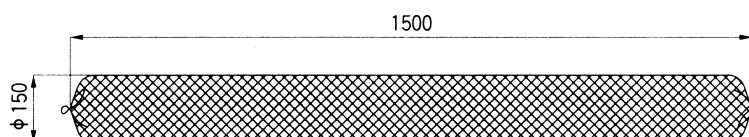
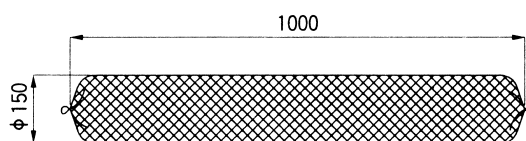
1.基本寸法図



1. つづき



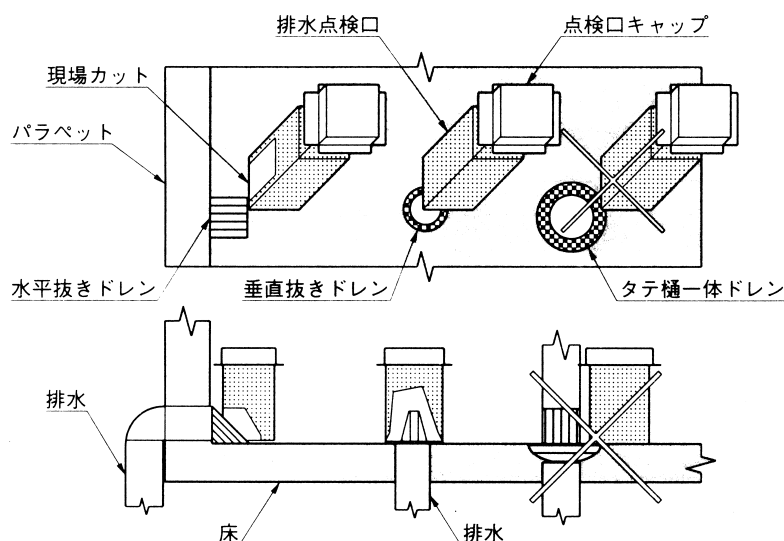
排水点検口



パーライトチューブ

2. 施工前の確認

2-1 排水点検口の設置

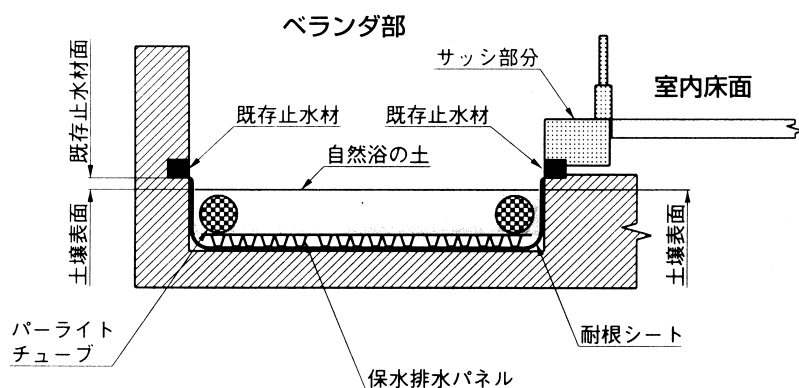


- ❶ フロアードレン部(既存床面の排水口)に排水点検口を置き、位置と納まりを確認します。
- ❷ 耐根シートを敷くときにフロアードレンの形状に合わせて耐根シートに切り込みを入れ、確実に排水できるようにします。

<注 意>

- フロアードレンには左図の形状があります。形状に応じて排水点検口の置き方を選択してください。ただし、水平抜きドレンの場合、現場加工が必要です。
- 上下の階に連続しているタテ樋一体型のドレンには、排水点検口は使用できませんので、注意してください。

2-2 耐根シートの敷設について

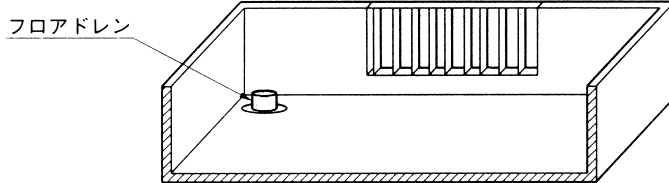


<注 意>

- 土壌表面の高さはベランダ部の防水止水材面以下としてください。雨水や水やり用の水が自室内および階下や隣家等の室内に侵入する恐れがあります。
- 左図は仕上り後の状態を示しています。自然浴の土の仕上り表面の高さを事前に確認してください。

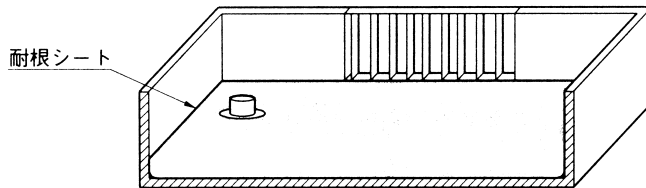
緑のベランダ施工手順

施工前の状況



フロア（ベランダ）の寸法や排水の状況を確認します。

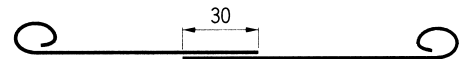
1. 耐根シートの敷設



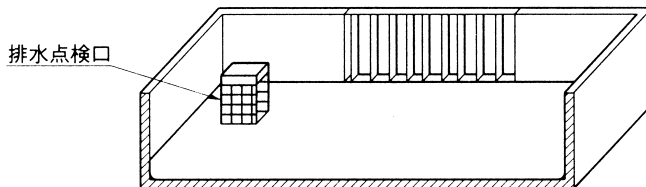
フロアドレン部分は、耐根シートに切り込みを入れてドレンを露出させてください。

<注 意>

- 複数枚のシートを使用する場合は30cm以上重ねてください。

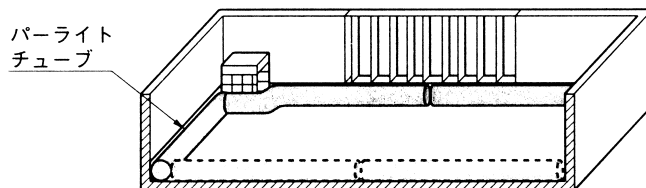


2. 排水点検口の設置



フロアドレンに排水点検口をかぶせます。

3. パーライトチューブの設置

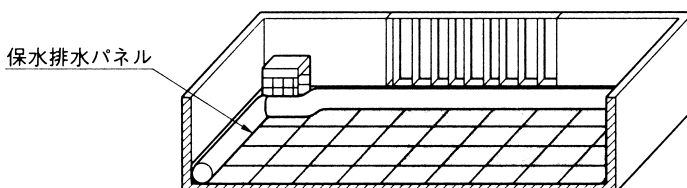


フロア外周（室内側も含む）にパーライトチューブを途切れなく配置します。

<注 意>

- パーライトチューブは、排水管の役目として使用します。

4. 保水排水パネルの敷設

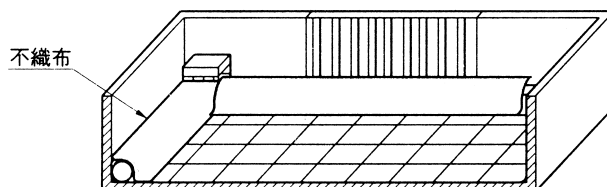


フロア内部に隙間なく、保水排水パネルを敷き込みます。

<注 意>

- サイズ調整が必要な場合は、300mm単位でパネルをカットします。（次ページ参照）

5. パーライトチューブ部に不織布設置

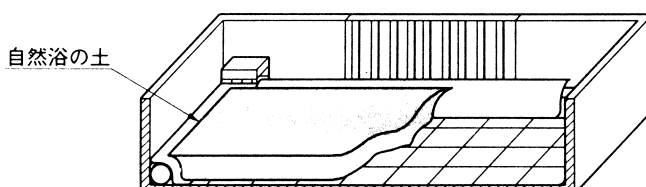


パーライトチューブ部分や、パーライトチューブと保水排水パネル、または排水点検口とのすき間から土が流出しないように不織布をかぶせます。

6. 根鉢ホルダー、根鉢メッシュの設置(オプション)

※ 詳しくは、根鉢ホルダー、根鉢メッシュの取付説明書をごらんください。

7. 自然浴の土の搬入



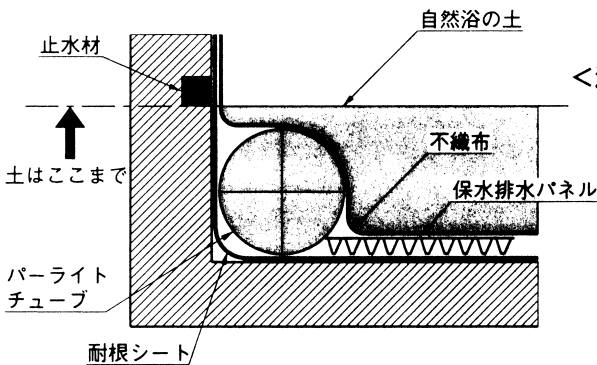
3. 根鉢ホルダー、根鉢メッシュの設置(オプション)について

- ① 緑のベランダに根鉢ホルダー、根鉢メッシュを使用する場合は、自然浴の土を搬入する前に設置します。

<注 意>

- 根鉢ホルダーは、高さ2.5m以下、葉張り1m以下の中木1本用です。
- 根鉢メッシュMは、高さ1.5m以下、葉張り40cm以下の低木3本用です。
- 根鉢メッシュSは、高さ1.5m以下、葉張り40cm以下の低木1本用です。

4. 自然浴の土の搬入について



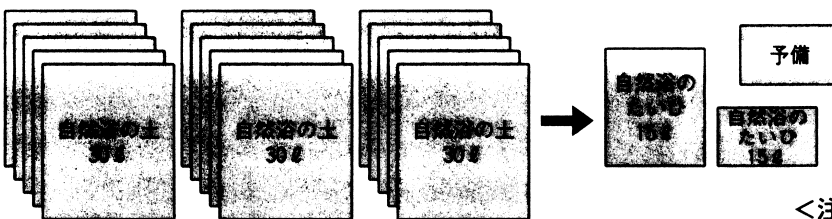
- ① 自然浴の土を搬入してください。
② 根鉢の大きな植物は、土を入れながら植込んでください。

<注 意>

- 仕上がり表面の高さに注意してください。〔2-2 耐根シートの敷設について〕参照)
- 自然浴の土の搬入時に土の締め固めが不十分だと、土の表面が後日沈下する場合があります。
- 規格表上での自然浴の土の必要量は、植物の根鉢分などの体積を含んでいません。植える植物のボリュームによって土が余る場合があります。
- 根鉢の大きな植物を多く入れたり、土の入れ方が少ない場合、土が余る場合があります。予備として、あるいは他の目的にお使いください。

5. 自然浴のたいひのすき込み

例) 自然浴の土30リットル15袋使用の場合



余った自然浴のたいひは、予備として、あるいは他の目的にお使いください。

- ① 使用した自然浴の土の袋数を確認してください。原則として使用した自然浴の土の1/10の袋数(体積比5%)の自然浴のたいひをすき込みます。
② すき込みは、まんべんなく行なってください。

<注 意>

- すき込みが不十分な場合、水はけが悪くなったり、植物に悪影響を及ぼす場合があります。

6. 植物の植込み

- ① あらかじめ計画された植栽プランに従い、植物を植えてください。

<注 意>

- 自然浴のたいひのすき込みは、必ず植物の植込み前に完了してください。植物を植込んでから自然浴のたいひをすき込むと、植物を傷付ける場合があります。

7. 水やりシステムの設置(オプション)

※オプションの水やりシステムは、ポイントドリップセット(タイマー付/無)とラインドリップセット(タイマー付/無)があります。詳しくは、水やりシステムの取付説明書を参照してください。

取説コード

G004

199902A